

# 委員会報告

2015～2016年度

No.1

第 3 回

委員会名

緊急援助震災支援委員会

委員長名

L 久保田 明雄

開催 日時	2015年11月18日水曜日 15時00 分 ～16時00分				
開催 場所	キャビネット事務局会議室				
出席 者		近藤地区ガバナー		村木第1副地区ガバナー	細川第2副地区ガバナー
	○	L久保田 明雄 委員長	○	L 茅島 純一副委員長	○ L赤對 亮美副委員長
	○	L 泉孝之行 委員	○	L 松井 政廣委員	○ L 寶田 義也 委員
		L 坂井 敬志 委員		L 中島 喜弘委員	L長谷川 敏一 委員
	○	L野村 起成 委員		L 沖 憲尚 委員	L 佐竹 稲史 委員
		L大城 朝明 委員		L佐々木 大介委員	
	出席オブザーバー				
		L鹿野 祥誠 CAB副幹事			
次 第	司会・進行茅島 L				
	1	出席者の確認・議事録者指名			
	2	委員長挨拶			
	3	各委員より自己紹介			
	4	地区ガバナーよりの諮問事項			
	5	報告事項			
	6	議事			
	7	次回開催確認			
	審議経過事項の概要				
	1	司会の茅島副委員長が出席者の確認を行い、議事録にL赤對が任命された			
	2	北関東豪雨震災支援については、一部の帰宅困難者を除いて終息の方向に向かっている。震災に対しては迅速な対応が求められる緊急支援震災支援委員会であるが、常に震災に備えるものの、何事もないことが一番である。			
		引き続き委員の皆さんの協力をお願いしたい。			
	3	特にないが、330A地区として日本赤十字社に対し今期のアクティビティとして350万円の車両を4台寄贈することに決議された。なぜライオンズが寄贈をするのかなど会議では議論が戦わされたが多数決により決定された。(久保田委員長)			
	4	災害発生時のタイムリーな緊急緊急災害対策支援の推進			
		災害発生時の地区内緊急連絡網の整備とその対応			
次回開催日時 場所	2015年12月16 日水曜日17時00 分 ～18時00分 懇親忘年会を予定				
			作 成 者	L赤對 亮美	

議 題	審議経過事項の概要
議 題	5-イ 報告事項
	日比谷公園ガーデニングショーにて北関東豪雨震災支援募金を行った。参加メンバーは久保田委員長はじめ、
	茅島副委員長、泉委員、松井委員、長谷川委員、鹿野担当幹事、湯川副幹事、諸見里10R RZC
	約5時間で72,656円
	5-ロ 緊急対策は危惧されている東京直下地震などを鑑みても単年度で捕らえていく問題ではなく、災害支援を通じて
	経験やノウハウを蓄積していくべきである。そこでこの委員会を期に次年度以降に引き継いでいける核をつくる元年に
	して行きたいという議題に対して活発に意見が交わされた。
	まず委員会が現地入りし、状況を把握/確認し適切な采配を振るうことが役割ではないか。(野村L)
	NPOや他のボランティア団体が被災地入りを断られる中、ライオンズは先輩達の活動の功績によって「ライオンズならば」
	とすんなり受け入れられることが多々ある。地方都市では特に一目置かれている。(泉L)
	車両を1台用意し、その中に炊き出しのセットを常備したものがあればたいへんに有意義な活動ができる。例えばそのような
	車両をキャビネットで管理し継続的に緊急対策震災支援の責務を担うような形がとれないのか。(野村L)
	緊急援助震災支援あるいはキャビネットで車を管理することはかなりの困難が予想されるが、知恵を出し合い検討する価値
	はある。(茅島副委員長)
	諮問事項の確認を行った。
	報告事項
	日比谷公園ガーデニングショーにて北関東豪雨震災支援募金を行った。参加メンバーは久保田委員長はじめ、
	茅島副委員長、泉委員、松井委員、長谷川委員、鹿野担当幹事、湯川副幹事、諸見里10R RZC
	約5時間で72,656円
	一般やNPOがボランティアの申し入れをして
	300名25,000～35,000円。一人15,000円/経費で賄える。
	タダではなく、原価で分けてもらう
	車を買うプロジェクトの検証
6-イ	終息の方向に向かっているので、こちらからの支援は不要という状況
6-ロ	12月16日 17時から
6-ハ	松井Lより緊急支援は継続して知識やノウハウを貯めていくもの。時期に継続できるような緊急援助の車両をキャビネットで
	所有し焚きだし、援助物資の支援などに使えるような形になるものを継続していつかはどうかとの提案がある。
	委員長より検討の余地はあるがライオンズは単年度で行われるという原則がある。それをどう解決するかが大きな問題
	となるのではなかの指摘があった。